

第51回 仙台市広瀬川清流保全審議会議事概要

◆ 日 時 : 令和5年8月23日(水) 14時00分～15時30分

◆ 場 所 : 市役所本庁舎 8階 第二委員会室

◆ 出席者 : 《審議会委員》(16名/16名)

| | |
|--------|---|
| 伊藤 勝衛 | 宮城管内町内会長連絡会 事務局長 |
| 岩松 廣行 | 作並温泉旅館組合 組合長 |
| 有働 恵子 | 東北大学大学院工学研究科 教授 |
| 坂野 恭子 | (公財) 日本野鳥の会宮城県支部 副支部長 |
| 佐藤 靖祥 | 仙台弁護士会 |
| 竹中 篤史 | 仙台森林管理署 署長 |
| 千葉 衛 | 宮城県土木部 部長(代理 河川課長 長谷川 清人) |
| 寺島 多恵子 | (一社) 宮城県建築士会仙台支部 副支部長 |
| 成田 秋義 | 国土交通省東北地方整備局河川部 部長 (代理 河川環境課長 太平 知秀) |
| 西澤 啓文 | 北部広瀬川愛護推進協議会 |
| 早坂 隆 | 仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会 |
| ○平吹 喜彦 | 東北学院大学地域総合学部 教授 |
| 福重 祐作 | (公社) 仙台青年会議所 理事長 |
| 福屋 粧子 | 東北工業大学建築学部 教授 |
| 嶺岸 健二 | 広瀬名取川漁業協同組合 理事 |
| ◎山田 一裕 | 東北工業大学工学部 教授 |

《事務局》

| | |
|--------|---------------------------|
| 佐藤 秀樹 | 建設局長 |
| 川股 直哉 | 建設局次長 |
| 佐々木 亮 | 建設局次長 |
| 大黒 雅隆 | 建設局百年の杜推進部長 |
| 小山 悟 | 建設局公園整備課長 |
| 千代谷 馨一 | 建設局全国都市緑化フェア推進室総務企画担当課長 |
| 千葉 勝義 | 建設局全国都市緑化フェア推進室整備運営担当課長 |
| 吉田 与一 | 建設局道路部南道路建設課長 |
| 藤田 規広 | 環境局環境部環境対策課長 |
| 長谷川 蔵人 | 教育局生涯学習部文化財課長 |
| 熊谷 純 | 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課長 |
| 稲垣 憲明 | 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係長 |
| 小松 健一 | 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主任 |
| 伏見 祐逸 | 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主任 |

(◎ : 会長 ○ : 副会長)

◆ 司 会 : 百年の杜推進課長

<次 第>

- 1 開 会
- 2 議 事 (報告事項)
 - ・ 史跡仙台北城跡植生修景整備について
 - ・ 都市計画道路南小泉茂庭線宮沢橋工区の道路整備について
- 3 その他 (情報提供)
 - ・ 第40回全国都市緑化仙台フェアについて
- 4 閉 会

| | |
|---------|--|
| 百年の杜推進課 | (1 開会) ただ今から「第51回仙台市広瀬川清流保全審議会」を開催する。 《配布資料の確認》 |
| 建設局長 | 《建設局長挨拶》 |
| 百年の杜推進課 | 《新規委員及び事務局の紹介》 国土交通省東北地方整備局河川部長成田秋義委員が就任した。 本日は16名の全委員にご出席いただいております、出席委員が過半数に達しているため、本日の会議は成立する。 これ以降の進行は「広瀬川の清流を守る条例施行規則第5条第1項」の規定にもとづき、山田会長にお願いします。 |
| 山田会長 | 議事の前に確認する。まず、会議の公開・非公開については、非公開となる事案がないので公開としてよろしいか。 委員了承 傍聴されている方は、会議の円滑な運営を図るため、会議中の注意事項を厳守いただくようご協力をお願いします。 次に、今回の議事録の署名についてアイウエオ順で委員の方1名に代表してお願いしている。今回は佐藤委員にお願いしたいが、よろしいか。 佐藤委員了承 |
| 百年の杜推進課 | (2 議事 (報告事項)) それでは議事に入る。今回の審議会では報告事項が2件、情報提供が1件ある。事務局から概要について説明をお願いします。 事務局説明 (百年の杜推進課より議事の位置付けを説明) |

| | |
|-------|--|
| 文化財課長 | <p>【史跡仙台城跡植生修景整備について】</p> <p>(資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4、参考資料「史跡仙台城跡植生修景方針」に基づき、文化財課より内容説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 史跡仙台城跡植生修景方針について 2. 植生修景事業スケジュールについて 3. 令和4年度植生修景について 4. 令和5年度植生修景について <p>質疑</p> |
| 坂野委員 | <p>植生の生態系調査は、具体的な観察、手法、どういったものが対象となるのか。</p> |
| 文化財課 | <p>生態系調査だが、現在どのような形で進めていくか検討している状況である。今後専門家の先生等のご意見なども踏まえながら、適切な形で行っていただければと考えている。</p> |
| 坂野委員 | <p>今の説明だと、詳細が分からない。</p> <p>今は、調査をする具体的な手法が決まっていないということですね。実際にいつ頃までにどのようにされるか、その経過について、どのように教えていただけるのか。</p> |
| 文化財課 | <p>具体的な方法とか期間について、こちらについても今検討していく。</p> |
| 坂野委員 | <p>東丸について、前年度やられているが、前回の席上でご説明いただいたものより大規模に行われている。その影響で、長沼周辺の生態系は完全に壊れ、動物、特に鳥類がほとんど全部なくなってしまった。近くで見られるということで楽しみにしていたカワセミもあそこになくなった。最近は、草が茂ってきて、少し環境が元に戻りつつあったが、また伐採されたりすると、元の木阿弥になってしまうので、伐採計画を立てる前に、生態系の調査をまず行い、どの程度の伐採をすると、どのように生態系に影響がでるのかということ、そういうことを先に検討してから、着手していただきたいなというふうに思う。詳細が決まったら教えてほしい。</p> |
| 文化財課 | <p>今年度の修景事業を実施する前までには、生態系調査までできるか分からないが、何らかの検証の確認と、それを踏まえ、事業を進めていく必要があると考えている。</p> <p>また、土塁のところの草については、確かにその野鳥に与える影響があるという話は、私も認識している。この夏で草が生い茂っており、昨年度修景をした状態のように戻すかということについては、必ずしもそうする必要はないだろうという認識もある。それらの点も踏まえ、本市の事業を取り組んでいきたいと思う。</p> |

| | |
|---------|---|
| 坂野委員 | <p>よろしく願います。</p> <p>もう一点だけある。木に絡んでいるキヅタというのがあるが、キヅタは、実がなり、餌を求め動物とか鳥とかが来る。青葉山の自然を豊かにしているが、今回修景という伐採にあたり、残した木に絡んでいるキヅタを全部根本だけ切られていた。現在は、生き生きとした樹木の周りに枯れたキヅタが絡んでいるという状況になっている。今後、伐採方法などを相談していただきたい。</p> |
| 山田会長 | <p>修景って何を求めている作業なのか、おそらく考え方とか目的とするところは、過去の審議会で情報提供されたかと思うが、例えば、土墨のある史跡の修景とはどうあるべきかが共有されてないと、いろんな価値感がぶつかり、議論或いは作業が滞ってしまうのかなと思うため、いろいろな見識或いは実績をお持ちの方々が集まる審議会なので、話の筋道の立て方というか、それはぜひ事務局に考えていただいて情報提供いただければと思う。</p> |
| 嶺岸委員 | <p>参考までに、広瀬名取川漁業協同組合の方では、工事に伴う魚類の調査、事前と事後調査など、可能な限り専門家に調査してもらい、或いは工事のために影響あったかないか検証している。野鳥の会との関係についても、できる限り相談した方がいい。</p> |
| 平吹副会長 | <p>実は正直なところ、文化財課の報告を聞き、資料も拝見し、文化財課としては、きちんと段取りを踏んで進められていると思う。また、今問題になっている崖の部分の植生の写真、写真しか見てないが、これは史跡としては大変美しい景観になったなど、正直なところそう思う。ただ、現場でよく見ていらっしゃる方にすれば、生き物のことも考えて欲しいということだと思う。</p> <p>よく開発工事するときに、整備担当者は100%、全部綺麗にしてしまう。キヅタの話がでたが、例えば、キヅタ100本あったら、5本は残すようなやり方もあると思うため、内容を説明する機会は非常に大切と考える。</p> |
| 山田会長 | <p>【都市計画道路南小泉茂庭線宮沢橋工区の道路整備について】</p> <p>続いて「都市計画道路南小泉茂庭線宮沢橋工区の道路整備について」、担当課から具体的な説明をお願いします。</p> |
| 南道路建設課長 | <p>(資料2に基づき、南道路建設課より内容説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮沢橋工区の位置付け 2. 宮沢橋工区の概要 3. 現在の宮沢橋 4. 新しい宮沢橋（色彩の変更） 5. 事業スケジュール（予定） 6. 現在の進捗状況 <p style="text-align: center;">[質疑]</p> |

| | |
|--------|---|
| 早坂委員 | <p>都市計画道路宮沢根白石線について、交通に関しては、私ども若林区民はかなり恩恵を受けた。駅まで10分足らずで行けるようになった。</p> <p>一つ質問させていただくが、新宮沢橋のこの真下は、かつては利府長町活断層と言っていたが、今は長町利府断層という名称に変わった。大体1000年に1回ぐらい動くみたいだが、ここ最近の東日本大震災以降、日本全国の地震の動きをみるとかなり活動期であると素人目でも分かる。その辺の地震に対する対応策というのは、この橋にどう考えているのか確認したい。</p> |
| 南道路建設課 | <p>阪神淡路大震災で基準等の見直しが行われた最新の耐震設計をした中で、現在の橋を作っており、東日本大震災等に対しても対応可能と考える。</p> |
| 早坂委員 | <p>資料に耐震に関する記載がなかったため、質問した。口頭で耐震していると言っても、よくわからない。幹線道路になるので、ここがもし開通が寸断されると物流、経済、人流に相当な影響を及ぼすため、市民がわかるような形で伝えてもらえると安心する。</p> |
| 南道路建設課 | <p>工事内容については、ホームページ等で、「工事だより」でお知らせしているが、委員から話のあった耐震については、なかなか伝わっていない所があるかもしれない。今後、「工事だより」等で、安全安心というところを広報していきたい。</p> |
| 山田会長 | <p>新宮沢橋の色彩変更について、経緯について何か情報共有できるものがあればお願いする。</p> |
| 南道路建設課 | <p>今回、変更に至った経緯としては、前回報告後、地元説明会とかやって、現場でもいろいろな市民の皆様にお会いする機会があって、橋の色を何にするのかというご意見をいただいた中で、「今の赤色がいい。」というご意見が多数寄せられている。そういった中で、今回、同じ色を踏襲していくということである。これはやはり地域の方々に根づいた色と考える。</p> <p>前回も広瀬橋から青葉山を見た時に、市街地と青葉山の緑と、それから宮沢橋の赤色の線、非常にコントラストが市民に印象良く与えているのかなと思う。これをあえて変えるというのではなく、踏襲することで、次世代にもつなげていきたいというような気持ちで、今の宮沢橋と同じ赤色にしたということである。</p> |
| 山田会長 | <p>今までの景観が踏襲されて、また新たな宮沢橋が生まれてくるということ、ぜひ広報でアピールをお願いする。</p> |
| 山田会長 | <p>(3 その他(情報提供)) 【第40回全国都市緑化仙台フェアについて】 続いて情報提供として担当課より説明をお願いする。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 全国都市緑化 フェア推進室 | <p>(資料3にもとづき、建設局全国都市緑化フェア推進室より内容説明)</p> |
| | <p>1. 会場の様子</p> |
| | <p>2. 主な行事等</p> |
| | <p>①ウェルカムセレモニー・開会式</p> |
| | <p>②令和5年度全国都市緑化祭</p> |
| | <p>③庭園出展コンテスト</p> |
| | <p>④屋内出展・展示</p> |
| | <p>⑤仙台フェア開催の成果とレガシーについて</p> |
| | <p>質疑</p> |
| 佐藤委員 | <p>花壇の件ですが、綺麗ではあるけれども、ちょっと河川敷に自然にあるお花でない、綺麗な花が植わっていたが、お花は今後どうなるのか。</p> |
| 全国都市緑化 フェア推進室 | <p>今回の緑化フェアについては、河川敷に植えたのは菜の花、この1種類のみである。また、河川敷から外れた、公園エリアの方に多数の品種を植えている。この菜の花は、緑化フェア終了後、すぐに撤去し、種などを回収するように、表土まで鋤取りを行っている。現在河川敷には、花は残っていない。</p> |
| 佐藤委員 | <p>河川敷だけじゃなくて、公園エリアの花はどうなるかという質問である。</p> |
| 全国都市緑化 フェア推進室 | <p>緑化フェアで整備した花壇については、基本的には撤去する。ただし、一部レガシーとして花壇を残すことで、現在進めている。今後は市民の皆様が、花壇づくりなどで活動する場として、活用していくことを考えている。</p> |
| 山田会長 | <p>せせらぎ水路で、子供たちが水生生物や川に触れて楽しんでいたのかなと思う。私も一度訪れて、ちょっと観察していたが、川に触れる一方で、今後、広瀬川で水に触れていただく機会づくりと同時に、安全対策が必要になってくると思うが、せせらぎ水路周辺の維持管理、あの時の楽しさが忘れられずにまた親子の方々が来る可能性もあるし、或いはその近辺で川の中に入って、何かトラブルがあるということも否定できない。維持管理について、どのように考えているか。</p> |
| 百年の杜推進課 | <p>せせらぎ水路や花畑、広場整備したところは、令和5年8月末まで一時占用という形で宮城県の方から占用を受けている。9月以降について、せせらぎ水路は、占用から外し、広場や花畑であったところは引き続き仙台市の方で、一時占用を継続し、今後の利活用を検証していきたいと考えている。</p> |
| 山田会長 | <p>事故を招く可能性があるため、子供たちが親水の機会を遠ざけるっていう趣旨ではないが、ぜひ子供たちが安全に遊べるような空間づくりを広瀬川の中に作っていただければと思う。</p> |

| | |
|--------------|--|
| 百年の杜推進課 | <p>補足だが、8月19日及び20日に、こども若者局の方で「プレーパーク」という形で整備したところをイベントとして利用し、2日間で200人以上の方々に参加いただき、川の中に入り、遊んでもらったところである。</p> |
| 山田会長 | <p>誰かが見守ってくれている環境以外でも、素人の方々が安易に近づくとまた危険性も増すので、その辺の広報、或いは周知も含めて、ぜひ広瀬川の利用について発信していただければと思う。</p> |
| 寺島委員 | <p>私は生まれも育ちも仙台であり、子供の頃は、広瀬川にメダカがいて遊んだという記憶がある。今すぐは難しいかもしれないが、メダカが戻ってくるような環境の整備も検討していただけたらと思う。</p> |
| 嶺岸委員 | <p>増水の度に水量は変化する。河川敷を利用する際は、子供たちが遊ぶ場でもあるので、念には念を入れて確認してから使用させること。</p> |
| 全国都市緑化フェア推進室 | <p>このせせらぎ水路の広瀬川の開放については、緑化フェア期間中、既存の水位観測所の水位や現地に事務所があったので、毎日、その水位を確認し、開放の可否について判断をしていた。当然、前日に雨が降る予報があれば、入らないような措置を行い運用していた。やはり、川の中で、子供たちを遊ばせるとなると、それなりの配慮というのは当然必要になってくる。</p> <p>緑化フェア推進室の方で実施した管理方法を、今後、継続利用を検討する百年の杜推進部の方に、我々の方から、資料等を引継ぎながら、仙台市として検討していく。</p> |
| 坂野委員 | <p>緑化フェア会場の跡地の駐車場について、野鳥の会として質問させていただくが、跡地の部分にも駐車場が新たにできるという話を聞いた。駐車場のことについて少し教えていただきたい。朝9時から夜の7時で駐車場を使用できるというような話は聞いたが、もう少し朝早くから使えるようにしていただきたい。</p> |
| 公園整備課 | <p>仙臺緑彩館の南側に駐車場を整備しているが、運用に関しては、まだ指定管理者と、実際の運用方法を調整している所であるため、利用時間については、決定していない。</p> |
| 山田会長 | <p>この場で検討するような議題ではないが、利用者の声の例として、早朝利用についての意見もあったということを踏まえて、ぜひ今後ともご協力いただければと思う。</p> |
| 平吹副会長 | <p>先ほどのせせらぎ水路の件で、市民、特に子供たちが、せせらぎ水路に親しむきっかけとか、アイデアが生まれたという、レガシーという言葉を使っていたが、大変すばらしいことだと思う。</p> <p>そのほか、広瀬川にはたくさんの魅力があるというのはもう、言わずもがなだが、仙台市として、私どものこの仙台市広瀬川清流保全審議会ともう一つ協議会があったかと思う。何を私たちは考えて、相手は何を考えているのかというところの情報提</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>供っていうものが必要である。</p> <p>もう1点は、緑の件ですが、仙台市が「郷土苗を配ります」・「庭づくりをしましょう」という、活動を長くやってきて、非常に先進的な取り組みだというふうに、拝見したが、レガシーとして、緑はどうあるべき、ふるさとの植物っていうものをもう少し大切にしたら、緑化という、緑の都市を作ることが、私は仙台市の取り組みという風を感じる。そういう点も、レガシーに組み入れていただければと思う。</p> |
| 百年の杜推進課 | <p>先ほど、副会長から郷土種についての話があったが、百年の杜推進課では、昨年11月に建築物等緑化ガイドラインを策定した。</p> <p>建築時に敷地内に緑を配置するように指導を行い、協議しているが、その中で植栽は、郷土種（在来種）を植栽するようガイドラインの中に盛り込んでおり、事業者の方々にご理解いただきながら、植栽を進めている状況である。</p> |
| 山田会長 | <p>郷土種に関連して情報提供だが、千葉県で見受けられる侵略的外来生物の実態、課題、或いは適応策について学ぶ機会があり、特に水生植物、水生植物で郷土種を維持していくのはもちろん大事だが、環境そのものが変わりつつあり、どれだけ郷土種が耐えられるのかってということと、侵略的な植物が南方から北上して来るにあたって、どのように防除していくのか。</p> <p>そのような考え方をもとに適切な緑化のあり方について、検討し、早期段階から温暖化に適用する郷土種のあり方という形でも、計画を立てていただければいいのかなと思う。</p> |
| 山田会長 | <p>情報提供としての意見は他にないか。その他として何か質問あるか。</p> |
| 山田会長 | <p>次回の審議会で、情報共有を図られることを期待したいなということで、ちょっと指摘しておきたいと思う。</p> <p>一つ目は、この仙台市中心部というのは、合流式下水道という整備が過去に行われ、残念ながら大雨が降ると、汚水と雨水が混じった状態のものが一部越流し、広瀬川の水質を一時的ではあるが、悪化するような現象というのが見受けられる。それを汚水の問題だけではなく、内水氾濫の防止とか、要するに大雨対策、評定河原或いは仙台駅の近くで、いろんな地下の工事を実施されている。</p> <p>広瀬川の水質にも関わることであるので、次回、そういった合流式下水道の対応について、どのような工事とか或いは進捗状況について、情報提供をこの場でしていただきたい。</p> <p>二つ目は、今年の6月、7月ぐらいだったと思うが、牛越橋あたりで、河道掘削工事が行われていた。</p> <p>おそらく漁業関係者の皆様には通知されていると思うが、例えば、カジカガエルがいるような場所でもあるし、或いは市民が多く訪れて、芋煮会をされるような河原でもあり、我々の生活圏内に関わるような場所であるが、残念ながらそういう工事が行われるというのは、我々の耳まで聞こえてこなかったと言うのがちょっと残念である。その広瀬川の整備に関わる場所については、情報提供していただければなど、何かここで決めるというよりも、共有することで多面的に、さまざまな分</p> |

| | |
|---------------------------|--|
| <p>嶺岸委員</p> | <p>野で見識のある皆様からご意見とかご助言をいただける場になれば、なお、施策にも反映して、より良いものになっていくと期待している。</p> <p>漁業協働組合としては、直接関わる大きな問題について、次回の審議会で報告という話があった。我々に限らず、広瀬川の清流を守るという点では、我々組合の事務所のそばにも直接排泄物が流れるというのを目の当たりにしている。</p> <p>長い歴史のある仙台で下水道事業は進められているものの、合流式とかそういうのは、いまだに解消できていない。メダカの話もあったが、自然環境を守るのは魚とか見ていると非常にわかりやすい。昔いた魚がいない、或いは別なのが増えたとか、次回にはそういった件について、もっともっと具体的に、話をしていきたい。</p> |
| <p>千葉委員代理 (長谷川課長)</p> | <p>先程、山田会長からご指摘あった河道掘削工事は、宮城県で実施しているものである。</p> <p>近年、非常に水災害、洪水が頻発化するという状況を見ると、河川の断面を確保することは、河川管理者として必要なことであることを御理解願いたい。工事を実施する際には、事前に漁協に対し、我々の方から連絡をしているが、やはり河川を利用される方であるとか、市民の方にも情報提供するのは大事なことであるため、どのように情報提供できるかを市や地元の方と相談し、こういうやり方があるというのを、次回、説明をさせていただきたいと思う。</p> |
| <p>早坂委員</p> | <p>広瀬橋から下流の件だが、広瀬川の管理に関しては、広瀬橋から上流は県の管理、そして、広瀬橋から下流は、国土交通省の管理ということである。私が申し上げたいのは、数年前に南地区の広瀬川環境美化推進協議会の会議の時に広瀬川下流の河川敷の草刈を依頼し、河川国道事務所の課長、現場の課長から了承を得て、草刈りをやっていただいた。</p> <p>ここ数年、予算の関係で草刈りが出来ないという状況に陥っており、環境美化の問題、防犯上の問題もあって大変苦慮している。何度かこの広瀬川環境美化推進協議会でもお願いをしているが、前向きな答えがもらえていないため、国土交通省東北地方整備局にも何か考えがあれば聞きたい。</p> |
| <p>成田委員代理 (大平課長)</p> | <p>広瀬橋から下流の管理は、国土交通省が実施しており、長町にある仙台河川国道事務所で管理している。ご要望の高水敷の除草に関しては、全国的に維持管理の予算が非常に厳しい状況である。</p> <p>まず、堤防の除草を実施しており、高水敷の草刈りは、河川の状況により、必要に応じて実施しているのが現状である。</p> <p>過去に実施したという経緯については、事務所に状況を確認し、回答したいと思う。</p> |
| <p>山田会長</p> | <p>最後に議事に関して、何か他にないか。</p> <p>なければ、本日の議事の一切を終了したいと思う。マイクを事務局に返す。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| <p>百年の杜推進課長</p> | <p>(4 閉会)</p> <p>今期の審議会委員の任期は、今年の10月31日をもちまして任期満了となる。任期中の審議会開催は、今回が最後となると考えている。委員の皆様においては、2年間、広瀬川の清流保全のため、貴重なご意見、ご指導いただき誠に感謝申し上げます。</p> <p>最後に、審議会委員の皆様を代表して、山田会長よりご挨拶を頂戴したい。</p> |
| <p>山田会長</p> | <p>この場にいる委員の皆様については、この2年間、都市緑化フェアもあり、様々な貴重な意見、指導いただき感謝申し上げます。</p> <p>2年間といっても、そんなに多くの回数をこの審議会を開催しているわけではないが、仙台市民にとって大事な広瀬川の環境づくりにおいて、非常に見識のある皆様から発言いただくというのは、今後のかわづくりにとっても大事なことである。貴重な審議会の運営にご協力いただき感謝する。</p> <p>審議会としては、来年度以降もまたあると思うが、引続き、委員を務められる方においては、ご協力の方よろしく願います。</p> |
| <p>百年の杜推進課長</p> | <p>山田会長、委員の皆様、大変ありがとうございました。</p> <p>以上で、第51回仙台市広瀬川清流保全審議会の一切を終了する。</p> |

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

仙台市広瀬川清流保全審議会署名委員

会 長 _____

委 員 _____